

ムラの暮らしは
二〇〇〇年の昔から変わりなく
ワラの中で営まれてきたのではなからうか



稲藁と

暮らす



2020年
11月10日[火] - 12月27日[日]
文教の杜ながい 丸大扇屋内蔵・新蔵

[開館時間] 10:00 - 17:00 ※入館は16:30まで
[休館日] 月曜日 ※月曜日が祝日の場合は翌日
[観覧料] 無料
[助成] 置賜文化フォーラム地域文化振興支援事業
[主催] 一般財団法人文教の杜ながい

勸進代地区の稲藁文化

稲藁と暮らす

勸進代地区の稲藁文化

令和二年度置賜文化フォーラム地域文化振興支援事業



勸進代について

長井市の西北に位置する、西山の麓の集落。地区内の「総宮神社」で執り行われる例大祭では、伝統の獅子舞が奉納される。

一般財団法人文教の杜ながいでは、令和2年度置賜文化フォーラム地域文化振興支援事業の助成を受け、展覧会「稲藁と暮らす～勸進代地区の稲藁文化～」を開催し、農村の暮らしを形成してきた稲藁文化について、長井市勸進代地区の実例と継承への取り組みをご紹介します。

かつて稲藁は生活のあらゆる場面で活用され、中でも草鞋は地区で毎年催される黒獅子まつりには欠かせない履物として、今でも重要な役割を果たしています。しかし昨今の稲作の機械化や担い手不足に伴い、材料となる稲藁が育成されず、地域に根付いていた稲藁文化の消失が懸念されています。そうした現状を受け、文教の杜ではここ数年にわたり、勸進代地区の協力の下で草鞋づくりのワークショップを開催し、稲作から草鞋づくりまでを包括的に取り扱ってきました。本展では解説パネルや記録映像、また藁製品の実物展示などを通じて、勸進代地区の稲藁文化とその状況や課題、継承への取り組みなどを紹介し、地域文化の現状と未来について考察します。

ご来場の際は感染症対策としてマスクの着用、手指の消毒、検温、他の方と距離を取る等のご協力をお願いいたします。なお今後の状況によっては予定されているイベントを中止する場合があります。

関連企画

トークショー 「草鞋をつくる」制作談

11月23日(月・祝) 14:00 から
小桜館にて



勸進代で長年に渡り稲藁製品を制作してきた田畝弘さんと、「草鞋をつくる」を制作したアートコレクティブ・アメフラシ代表の村上滋郎さんから、制作秘話や継承への取り組みなどのお話を伺います。

【予告】ワークショップ

農家の冬仕事 草鞋づくりを体験しよう

2021年1月中

今でも黒獅子まつりには欠かすことのできない草鞋づくりを体験し、稲藁文化を継承するワークショップ。

※開催日程は決まり次第、当財団ウェブサイトにてお知らせします。



同時開催 長沼孝三彫塑館第3期収蔵品展

ココロの形 12月27日[日]まで

丸大扇屋で生まれた彫刻家・長沼孝三の作品から、作家の思想が表現された「怪」シリーズや、季節感のある彫塑作品を展示。

お問い合わせ

長井市十日町 1-11-7 [電話] 0238-88-4151
<https://bunkyounomori.jimdofree.com>



文教の杜ながい
Bunkyounomori Nagai